

石川県流域下水道事業の業務状況の公表

地方公営企業法（昭和 27 年法律第 292 号）第 40 条の 2 第 1 項の規定により、石川県流域下水道事業の令和 2 年 10 月 1 日から令和 3 年 3 月 31 日まで（以下「下半期」という。）の業務の状況を次のとおり公表する。

令和 3 年 7 月 6 日

石川県知事 谷 本 正 憲

1 事業の概要

昭和 58 年度より流域下水道事業に着手し、現在、犀川左岸流域下水道（犀川左岸処理区）、加賀沿岸流域下水道（梯川処理区）及び加賀沿岸流域下水道（大聖寺川処理区）で事業を実施しています。

このうち、梯川処理区は平成元年 4 月に、犀川左岸処理区は平成 6 年 12 月、大聖寺川処理区は平成 7 年 12 月に供用開始しています。

●事業の概要

区分	加賀沿岸流域下水道 （梯川処理区）	加賀沿岸流域下水道 （大聖寺川処理区）	犀川左岸流域下水道 （犀川左岸処理区）
着手年度	昭和 58 年度	昭和 63 年度	昭和 62 年度
供用開始年月	平成元年 4 月	平成 7 年 12 月	平成 6 年 12 月
管渠延長	34km	17km	23km
処理場	翠ヶ丘浄化センター	大聖寺川浄化センター	犀川左岸浄化センター
ポンプ場	6ヶ所	2ヶ所	—
水処理方式	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法	標準活性汚泥法
汚泥処理方式	濃縮→消化→脱水→乾燥	濃縮→消化→脱水	濃縮→消化→脱水
処理能力	43,000 m ³ /日	18,400 m ³ /日	53,300 m ³ /日
関係市	小松市、能美市、白山市	加賀市	金沢市、白山市、野々市市

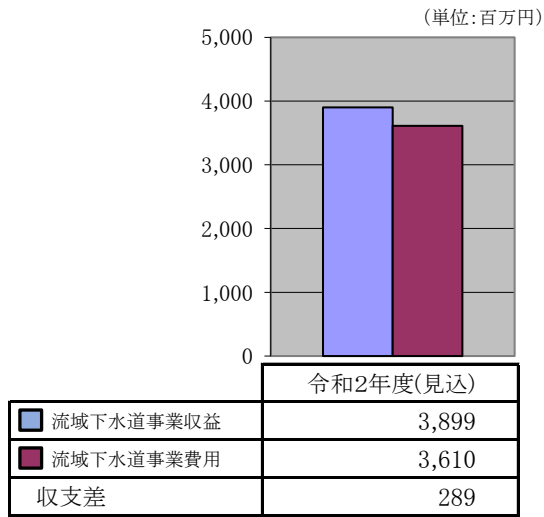
（注）管渠延長及び処理能力は、令和 3 年 4 月 1 日現在です。

●年度別処理水量

（単位：m³）

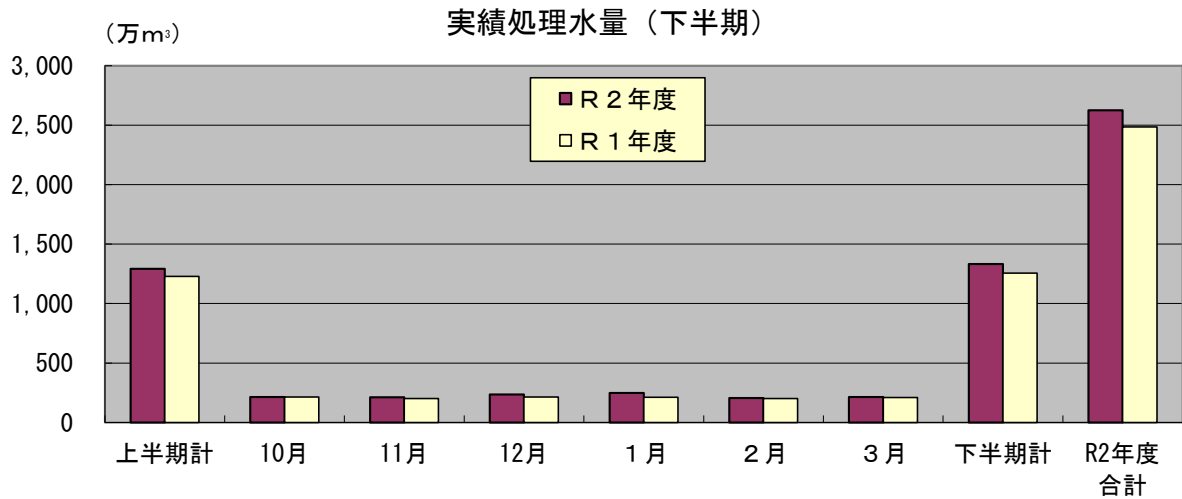
年度	加賀沿岸流域下水道 （梯川処理区）	加賀沿岸流域下水道 （大聖寺川処理区）	犀川左岸流域下水道 （犀川左岸処理区）	合計
平成 28	8,265,017	2,919,903	13,798,191	24,983,111
平成 29	8,743,672	3,062,741	14,057,719	25,864,132
平成 30	8,625,251	3,036,834	13,815,834	25,477,919
令和 元	8,347,112	2,916,874	13,580,720	24,844,706
令和 2	8,916,161	2,999,691	14,345,165	26,261,017

● 令和2年度の収益的収支



2 下半期における業務状況

下半期における実績処理水量は、1,334万立方メートルとなりました。



(単位: m³)

区分	上半期計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下半期計	合計
R 2年度	12,924,957	2,148,360	2,120,633	2,362,077	2,491,467	2,060,573	2,152,950	13,336,060	26,261,017
R 1年度	12,287,590	2,151,927	2,014,034	2,145,141	2,132,530	2,014,213	2,099,271	12,557,116	24,844,706

3 下半期における予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 算 額 A	下半期執行額	累計B	執行率B/A×100
収 入	流域下水道事業収益	4,055,745	3,110,692	4,034,221	99.5%
	営業収益	1,701,643	850,822	1,701,644	100.0%
	営業外収益	2,354,102	2,259,870	2,332,577	99.1%
支 出	流域下水道事業費用	3,799,080	3,109,225	3,704,347	97.5%
	営業費用	3,518,422	3,006,011	3,461,477	98.4%
	営業外費用	194,457	103,214	156,670	80.6%
	特別損失	86,201	0	86,200	100.0%

収入の主なものは、関係市からの維持管理負担金です。

支出の主なものは、指定管理委託料や減価償却費です。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

区 分	科 目	予 算 額 A	下半期執行額	累計B	執行率B/A×100
収 入	資 本 的 収 入	(1,722,352)	(1,721,688)	(1,722,352)	(100.0%)
		1,863,866	422,042	422,042	22.6%
	国庫補助金	(1,054,723)	(1,054,723)	(1,054,723)	(100.0%)
		1,159,796	222,080	222,080	19.1%
	建設負担金	(332,965)	(332,965)	(332,965)	(100.0%)
		341,497	90,857	90,857	26.6%
企業債	(334,000)	(334,000)	(334,000)	(100.0%)	
	361,000	108,000	108,000	29.9%	
他会計補助金	(664)	(0)	(664)	(100.0%)	
	1,573	1,105	1,105	70.2%	
支 出	資 本 的 支 出	(1,722,353)	(1,641,891)	(1,722,353)	(100.0%)
		2,498,319	719,570	1,055,753	42.3%
	建設改良費	(1,722,353)	(1,641,891)	(1,722,353)	(100.0%)
1,888,155		412,402	445,590	23.6%	
企業債償還金	610,164	307,168	610,163	100.0%	

()は、令和元年度からの繰越予算に係るもので、外数です。

収入の主なものは、国交付金、関係市からの建設負担金及び令和元年度及び令和2年度同意（許可）債の受入れです。

支出の主なものは、設備の更新費及び企業債の元金償還分です。

4 資産、負債及び企業債の状況

下半期における資産、負債及び企業債の増減は、次のとおりです。

(1) 資産

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
固 定 資 産	45,798,612	45,902,712	4,139,437	4,263,071	45,779,078
流 動 資 産	750,144	1,057,329	5,027,267	4,350,132	1,734,464
計	46,548,756	46,960,041	9,166,704	8,613,203	47,513,542

固定資産の増加額は、設備の更新費に係るものです。

固定資産の減少額の主なものは、減価償却による資産減耗分です。

流動資産の増減額の主なものは、預金、未収金及び前払金です。

(2) 負債

(単位：千円)

区 分	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
固 定 負 債	6,166,209	6,212,785	486,507	601,499	6,097,793
流 動 負 債	952,674	1,032,801	3,054,480	2,201,416	1,885,865
繰 延 収 益	31,868,737	31,869,401	1,816,000	1,900,586	31,784,815
計	38,987,620	39,114,987	5,356,987	4,703,501	39,768,473

固定負債の増加額の主なものは、企業債の借入によるものです。

固定負債の減少額の主なものは、令和3年度償還予定企業債を流動負債に振り替えたものです。

流動負債の増加額の主なものは、一時借入金及び未払金です。

流動負債の減少額の主なものは、企業債の定期償還分及び未払金です。

うち企業債

(単位：千円)

借入先	年度当初現在高	9月末現在高(A)	下 半 期		3月末現在高 (A)+(B)-(C)
			増加額(B)	減少額(C)	
財 務 省	2,901,794	2,756,210	30,000	147,450	2,638,760
地方公共団体金融機構	3,711,218	3,570,308	255,000	142,844	3,682,464
北 國 銀 行	156,500	140,000	157,000	16,875	280,125
計	6,769,512	6,466,518	442,000	307,169	6,601,349

増加額は、令和元年度及び令和2年度同意(許可)債受入分です。

減少額は、定期償還分です。

5 令和3年度予算の概要及び事業の経営方針

(1) 予算の概要

ア 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
流域下水道事業収益	3,807,044	流域下水道事業費用	3,474,682
営業収益	1,729,451	営業費用	3,295,891
営業外収益	2,077,593	営業外費用	178,791

イ 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入		支 出	
科 目	予 定 額	科 目	予 定 額
資 本 的 収 入	1,369,200	資 本 的 支 出	1,984,152
企業債	314,000	建設改良費	1,389,747
国庫補助金	802,000	企業債償還金	594,405
建設負担金	251,000		
他会計補助金	2,200		

金額は、消費税及び地方消費税を含んだ額となっています。

資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額614,952千円は、過年度分損益勘定留保資金218,504千円、当年度分損益勘定留保資金354,066千円、繰越利益剰余金11,968千円及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額30,414千円で補てんするものとします。

(2) 令和3年度事業の経営方針

ア 流域関連市

金沢市ほか5市

イ 一日平均処理水量

85,025立方メートル

ウ 年間総処理水量

31,034,000立方メートル

エ 維持管理負担金単価

加賀沿岸流域下水道（梯川処理区） 57.1円（1立方メートル当たり）

加賀沿岸流域下水道（大聖寺川処理区） 91.0円（1立方メートル当たり）

犀川左岸流域下水道 45.0円（1立方メートル当たり）